

第1833号
令和6年3月1日

裁判所時報

発行
最高裁判所
事務総局
(毎月1日・15日発行)

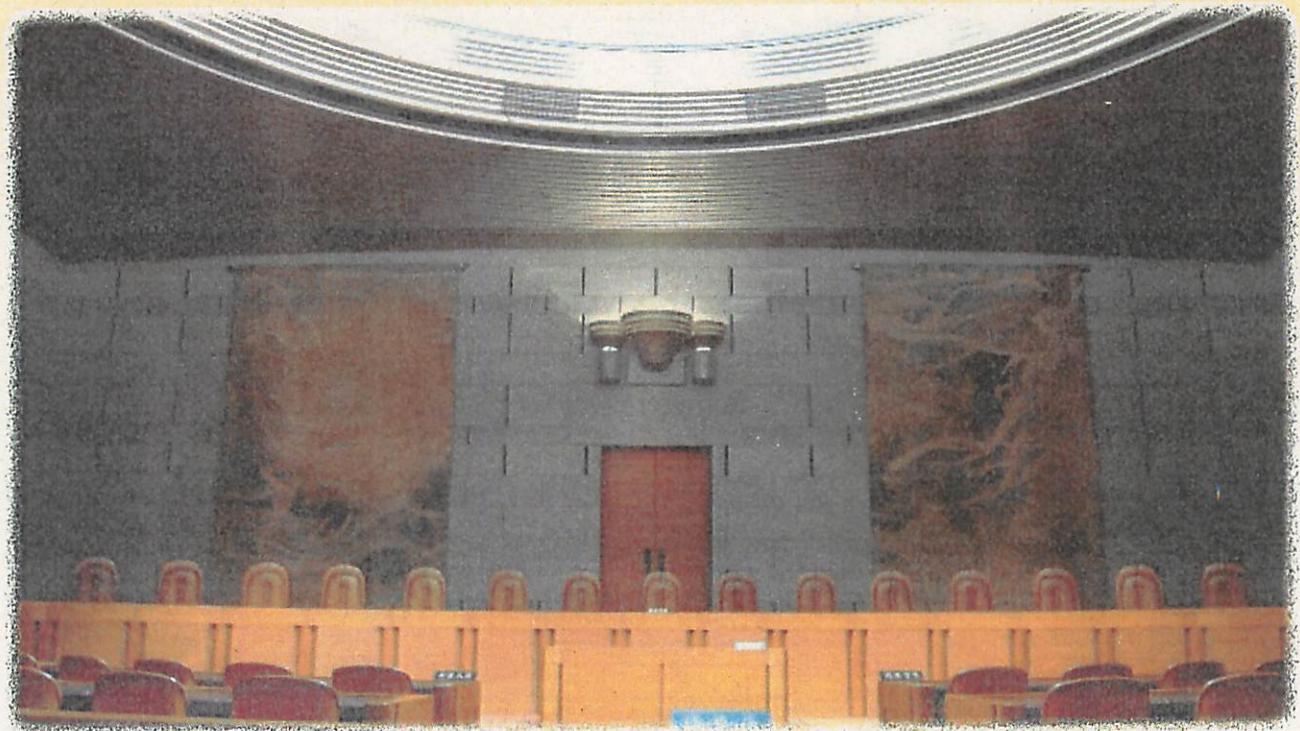
(目次)

◎記事 1

- 叙位・叙勲 (12月分、死亡者のみ)
- 人事異動 (2月15日、16日)

◎裁判所だより 2

- 「織物とモーニングの街・一宮市」
(名古屋地方・家庭裁判所一宮支部、一宮簡易裁判所)



記事

◎叙位・叙勲（12月分、死亡者のみ）

別紙「叙位・叙勲（令和5年12月、死亡者のみ）」
のとおり

◎人事異動

定年退官

仙台高等裁判所判事 石栗正子
(2月15日)

仙台高等裁判所判事

旭川地方・家庭裁判所長 石垣陽介

旭川地方・家庭裁判所長

東京地方・家庭裁判所立川支部判事 河本晶子

東京地方・家庭裁判所立川支部判事

東京高等裁判所判事 西理香
(以上2月16日)



◎裁判所だより

「織物とモーニングの街・一宮市」

(名古屋地方・家庭裁判所一宮支部、一宮簡易裁判所)

愛知県の北西部、濃尾平野の中央、名古屋市と岐阜市のほぼ中間に位置する一宮市は、木曽川の清流と温厚な気候風土に恵まれた街です。一宮市は、「真清田（ますみだ）神社」が市内にあったことが地名の由来であるとされています。平安時代には、中央から派遣された国司が、地元との輶轡（あつれき）を生じさせないため、その国にある格式の高い神社から順に参拝して回るという風習があり、最も格式が高い神社を「一の宮」と言いました。尾張の国の中では、その最も格式の高い「一の宮」が「真清田神社」であったことから、その門前町である地域がいつしか「いちのみや」と呼ばれるようになったと言われています。



(写真は、真清田（ますみだ）神社)

この真清田神社の祭神の母神は、太古から織物の神様として知られ、その御加護によってこの地方の織物業が発達したと言われています。その歴史は古く平安時代に遡り、江戸時代は縞木綿や絹織物の生産地として、明治以降は毛織物工業の中心地として発展しました。それは、濃尾平野の肥沃な土地と木曽川の豊かな水という自然の恵みがあったからです。なかでも一宮市が位置する尾州は、糸、染め、織り加工まで全ての工程をこの地域の中で分業・協業して行うことができ、長く蓄積された技術力を持って織られた生地は国内外から評価が高く、イタリアのピエラ、イギリスのハダースフィールドと並ぶ世界三大毛織物産地となっています。一宮市内では、毎年7月末になると、織物業の更なる発展を願って、織物と縁の深い牽牛・織女にちなんだ「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」が行われて市民の夏の最大イベントとなっています。

そして、一宮市と言って外せないのは、モーニング文化です。一宮市の喫茶店でモーニングが始まったのは昭和31年頃で、当時は、機織りの機械が「ガチャン」と音を立てると1万円が儲かるという「ガチャマン景気」に沸いていました。織維業の人たちは、工場では商談をするにも機織機の音が大きいので、喫茶店を商談の場所として頻繁に利用し、あるとき、店主が頻繁に利用してくれる客に、コーヒーにゆで卵とピーナッツをサービスしたところ、そのサービスが人気となり、モーニング文化が定着しました。朝、コーヒーなどの飲み物を注文すると、トーストやゆで卵が無料で付くモーニングサービスは、一宮市が発祥の地と言われています。一宮市内で食べられるモーニングは「一宮モーニング」と称され、開店から午前11時頃までの間は、コーヒー1杯の料金で、コーヒーにトースト、サラダは当然、中には海老フライや茶碗蒸し、オムライスに煎茶までが無料で付いてくるという店もあり、朝から満員になる店も多いと聞きます。これは、「お客さまに満足してもらいたい」という「おもてなし」精神の表れだとされています。

「真清田神社」から始まり、「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」や「一宮モーニング」に至る文化は、木曽川の清流などの自然の恵み、そして、発展した織物業がもたらしたものであり、額に汗して一生懸命働く人々の勤勉・実直さと、それらの人々を「おもてなし」する温厚な風土を表現しているものと思います。このような一宮市を管轄するのが名古屋地方・家庭裁判所一宮支部、一宮簡易裁判所です。私たちは、この地に暮らす人々に、地域に根差した司法サービスの提供を心掛けていきます。



(写真は、名古屋地方・家庭裁判所一宮支部、一宮簡易裁判所)

(別紙)

叙 位 ・ 叙 勲 (令和5年12月、死亡者のみ)

元日本弁護士連合会常務理事	鈴木 喜三郎	12.1	従五位
元鳥取地方裁判所事務局長	平木 賴和	12.7	正六位 瑞双
元広島簡易裁判所判事	片山 章	12.8	従四位
元横浜家庭裁判所長	蓑原 茂廣	12.10	従三位
福井地方裁判所武生支部主任書記官	直井 高之	12.10	正五位 瑞双
元日本弁護士連合会副会長	鈴木 誠	12.19	正五位
元日本弁護士連合会常務理事	遠藤 哲嗣	12.28	従五位
元広島高等裁判所長官	藤田 耕三	12.31	正三位